

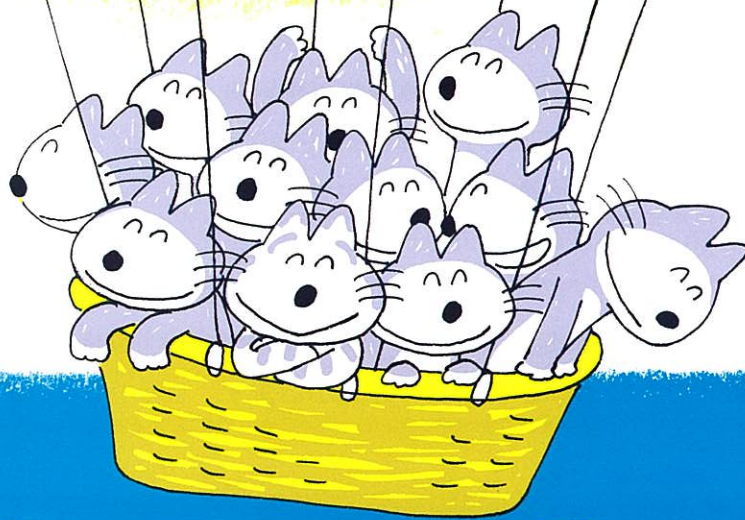
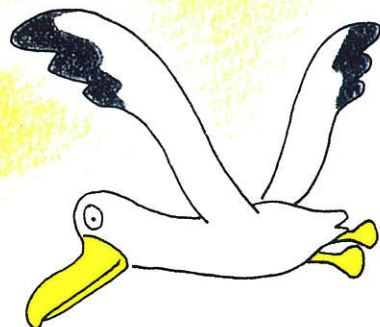
人形劇団 **ワラウルテ**

11ぴきのねこと あほうどり

大人気11ぴきのねこシリーズ
第3弾!!

原作 / 馬場のぼる (こくま社刊)

脚色 / 松本則子
演出 / 藤田光平
人形美術 / 永島梨枝子
舞台美術 / 西島加寿子
音楽 / 一ノ瀬季生
照明 / 永山康英
舞台監督 / 奥洞昇
制作 / 松澤美保



©馬場のぼる / こくま社刊

12月11日(日) 開場 13:30
開演 14:00
(終演予定 15:30)

たんば田園交響ホール
主催：篠山市・篠山市教育委員会

**入場無料
要整理券**

入場整理券の申し込み方法

往復はがきの往信裏面に ①郵便番号・住所 ②氏名
③連絡先 ④必要枚数を、返信表面には返信先を明記
の上、下記宛先までお申し込みください。
返信裏面には何も書かないでください。
※ハガキ1枚で最大5名様まで申し込めます。
※申し込みが多い場合は抽選になります。
※座席は全自由席です。
■あて先 〒669-2332 篠山市北新町 41
たんば田園交響ホール
「11ぴきのねことあほうどり」係
■締め切り 平成 23 年 11 月 4 日(金)(消印有効)

お問合せ：篠山市立たんば田園交響ホール TEL 079-552-3600

この公演は、篠山市西浜谷在住の竹内正男様のご寄付により開催します。

人形劇団 **ケラケラ**

11ぴきのねこと あほうどり

人形劇

原作／馬場のぼる (こぐま社刊)

脚色／松本則子 演出／藤田光平 人形美術／永島梨枝子 舞台美術／西島加寿子

音楽／一ノ瀬季生 照明／永山康英 舞台監督／奥洞昇 制作／松澤美保 写真／田嶋哲

あらすじ

ニャゴ、ニャゴ、ニャゴ、ニャゴ、ニャーゴ!

11ぴきのねこは、みんなのらねこ。そして、いつもはらぺこ。

ある日、11ぴきのねこは広いジャガイモ畑を見つけます。みんないっせいにジャガイモにかじりつきますが、そのままではまずくて食べられません。「ジャガイモといえばコロッケだ!」

そこで、みんなでコロッケを作ることにしました。

ジャガイモをあらって、ゆでて、つぶして、パンこをつけてあぶらであげると、コロッケができました。

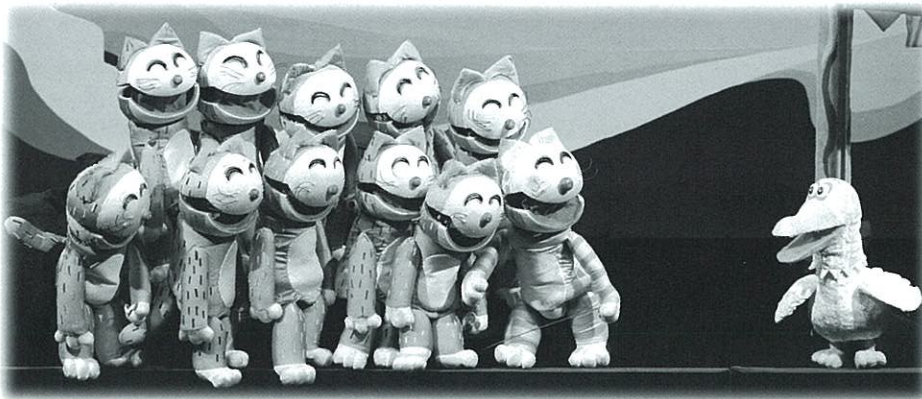
「こんなにおいしいコロッケ、われわれだけで食べてはもったいない!」

11ぴきのねこは、コロッケ屋をはじめます。お客さんが次々とやって来て、お店は大はんじょう。でも、夕方になるとお客さんはぱったり来なくなり、残ったコロッケを自分たちで食べることに。

「もう、コロッケはいりません!」「鳥の丸焼きが食べたいねえ〜。」と、そこへ、1羽の旅のあほうどりがコロッケを買いにやってきました。

「こんなにすてきなコロッケを兄弟たちにも食べさせてやりたい。」島には10羽の兄弟が待っているの、コロッケを作りに来て欲しいと言います。

11羽のあほうどりを丸焼きにして食べてしまおうと考えた11ぴきのねこは、気球に乗って、あほうどりの島へと向かいます。しかし、そこで待っていたのは……。



大人気11ぴきのねこシリーズ
第3弾!!



演出にあたって

藤田光平

馬場のぼるさんの絵本のページいっばいに描かれた、個性豊かにコロッケを作っている11ぴきのねこたち。子どもたちは、「このネコはこうで…このネコは…」と、絵本の隅から隅までいっぴきいっぴき指さします。まるで、自分が「11ぴき」であるかのように。人形劇「11ぴきのねことあほうどり」では、客席の子どもたち一人一人が、「11ぴき」となかまになり、舞台いっばい跳ね回っているような一体感を感じてもらいたいと思っています。

11ぴきのねこたちのエネルギーの源は、「食べること」です。赤ちゃんが夢中にオッパイを飲む姿や、飲み終えた後のあの至福の表情! また人は、食べることを通じて、様々なことを経験し〜もちろん失敗もあります〜、感じ、学んでいきます。そんな11ぴきのねこたちの生き生きとした姿をお届けしたいと思っています。

〈お問い合わせ〉

たんば田園交響ホール TEL 079-552-3600

<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/denen/index.html>